

jus研究会名古屋大会



#UNIX歴史講座 #oscnagoya

本日の資料は
こちらで公開します

<https://www.slideshare.net/hourin/>

もしくは
「slideshare 法林」で検索



法林 浩之



@hourin

- 日本UNIXユーザ会 幹事 (元会長)
 - さまざまなコミュニティとイベントを開催
 - 全国各地のイベントで研究会を開催
- フリーランスエンジニア
 - 最近はさくらインターネットの仕事が多い
 - 他にも多彩なイベントを開催
- くわしくは「法林浩之」で検索

本日のゲスト

吉田 茂樹



- 情報科学芸術大学院大学 [IAMAS]
メディア表現研究科 教授
- 日本UNIXユーザ会 元幹事 (1988-1994)
 - 担当：ソフトウェア配布、UNIX Fairなど

日本UNIXユーザ会 (jus)



[ホーム](#) [About jus](#) [入会/更新案内](#) [イベント情報](#) [運用研究会](#) [活動履歴](#) [会員ページ](#)

JAPAN UNIX SOCIETY SINCE
1983

[ABOUT JUS](#)

1983年設立
日本におけるUNIXや
OSSコミュニティの草分け

jus JAPAN UNIX SOCIETY NEWS LETTER
/etc/wall

1999 vol.4

jusの会報

主に活動報告を掲載

jus幹事が編集

設立当初から現在に至るまで継続

試合に至る経緯

- 昔の/etc/wallは紙媒体（現在はPDF）
- jus事務局に眠る古文書の電子化を推進中
- 作業中に/etc/wallが全巻発掘され電子化
- /etc/wallに書かれた活動記録を紹介することで、
当時のUNIX業界やIT業界の状況を伝えたい
- 35年分を一度に紹介するのは無理なので、
各回ごとに年代を区切ったりテーマを設けて説明

おことわり

- 今日の内容は当時のIT業界のごく一部
 - jusの活動記録から見た当時の状況説明
 - jusの活動範囲外の出来事は載っていない
 - 時間の関係で割愛する話題も多い
- NGワード
 - (俺の思い出の)あの出来事が載っていない
 - なつかしい(平成生まれは知らない話なのでそんなこと言わないはず)

昭和生まれの皆さんへ

発表内容の補足情報を
ハッシュタグを付けて
投稿してください

#UNIX歴史講座 #oscnagoya

今回の主な話題

ソフトウェア配布

1980年代後半から
1990年代半ばぐらいまでの
/etc/wallから紹介

前提知識：当時の状況 (1980年代後半)

インターネットありません

Webありません

GitHubもちろんありません

aptとかyumとかありません

Linuxありません

DVDありません

CD-ROM普及してない

jus フリーソフトウェア配布 サービスについて

吉田茂樹

CSK

/etc/wall
1991年1月号

吉田さんによる jusフリー ソフトウェア 配布サービスの 告知記事

背景

/etc/wall No.10のアンケート集計結果を見ると、jusの活動として期待する項目として“フリーソフトウェアのテープ配布”がそのトップに挙がっています。一般にフリーソフトウェアはネットワークを通じて配布されたり、知人や配布サービスをおこなっているところから入手しますが、ネットワークにアクセスできない、アクセス方法やアクセス先が判らない、周囲にこれといった知人がいない、配布サービスに関する情報の入手方法が判らない、という人も多いようで、このような結果が出たのでしょう。

jus では以前から会員サービスの一環としてテープによるソフトウェアの配布をおこなってきました。これまでに、X Window System Version 11 Release 3 および Release 4、GNU Projects の各ソフトウェアを配布しました。しかし、UNIX 上で動作するフリーソフトウェアには、X Window System や GNU 以外にもさまざまなものがあります。

今回は会員の要望に対してより充実した形で応えるという意味から、多くの UNIX ユーザが愛用している、各種の UNIX 用フリーソフトウェアの配布をおこないます。

配布要領

今回の配布は、以下の要領でおこないます。

配布時期: 1991年1月より3月まで(予定)

配布手数料: メディア代および郵送料、テープのコピー作業料として個人会員の方からは 15,000円をいただきます。法人/賛助会員の方は無料です(ただしお申込みが必要です)。

申込方法: 別途お送りする申込み用紙に必要事項を記入のうえ、かならず FAX か郵便で jus 事務局まで申し込んでください。法人/賛助会員でも、お申込みのある場合にかぎって配付しますので、配布を希望される方はかならず申し込んでください。

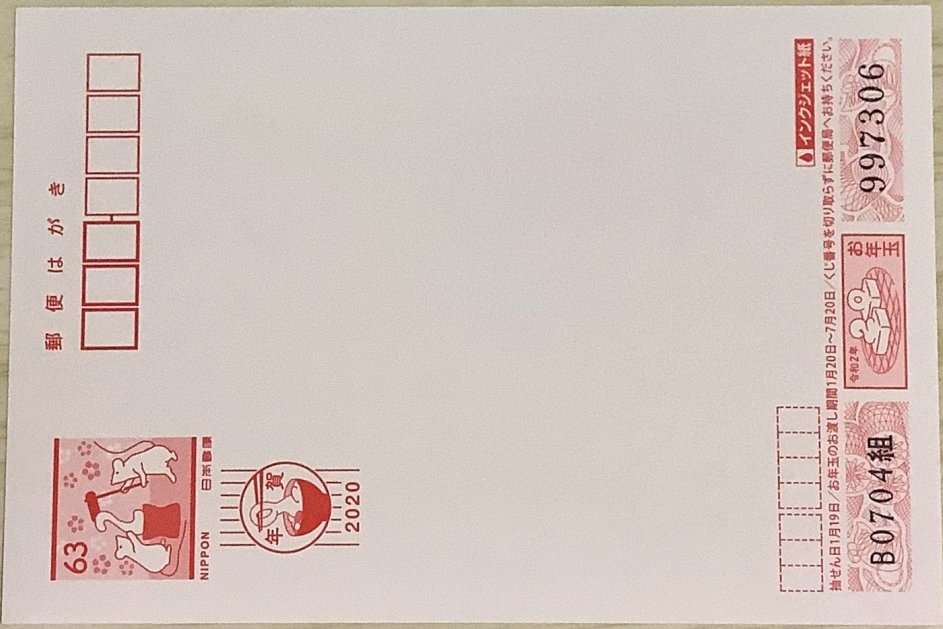
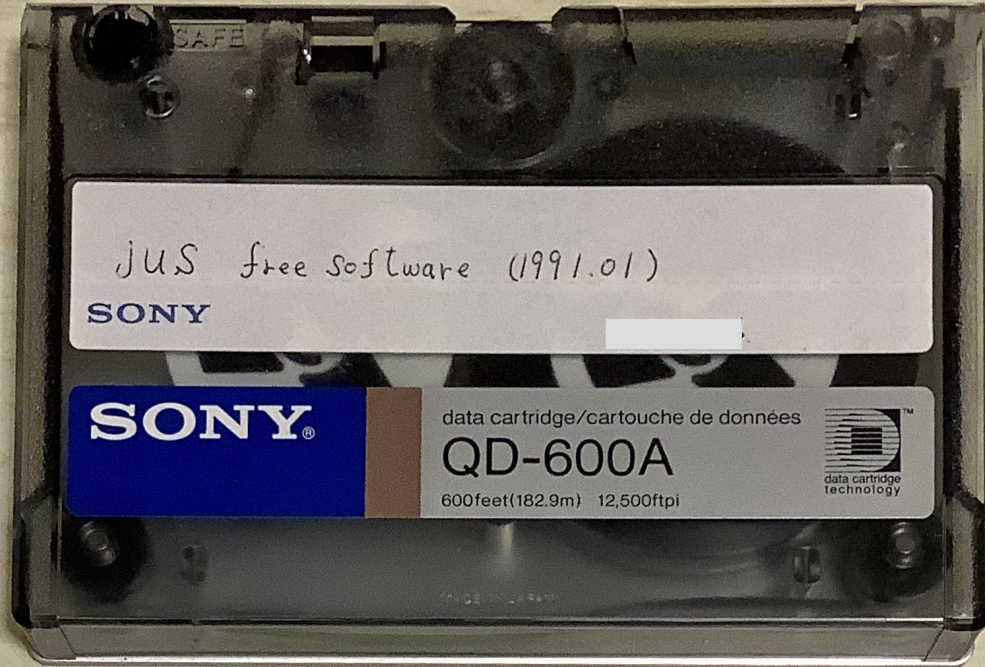
メディア: 600フィートの 1/4インチ・ストリーマ・カセットテープ 1本

フォーマット: tar アーカイブ形式(20ブロックファクター)の、QIC-24フォーマット。

合計容量: 約60MB(各ファイルは圧縮されています)。圧縮を戻すと約120MBになります。



この頃まだ
CD-ROMは
普及して
なかった



1/4インチ
ストリーマ
カセットテープ

配布内容・形態

フリーソフトウェアの配布に際しては、各ソフトウェアのソースコードを以下のように整備します。

- 入手したソフトウェアは基本的に“そのまま”配布します。ただし、コンパイル・使用にあたって明らかに障害になりそうな不具合は修正してあります。
- 複数のバージョンがあるものは、とくに理由がないかぎり最新版を配布します。
- バグフィックス・パッチ (バグを修正するための変更点を示したファイル) が出ているものは、作者や代理人から配布されたオフィシャルなものについてのみ、最新のものまでパッチを当ててあります。
- 日本語化されているものがある場合は、日本語化されたもののみ配布します。なお、複数の日本語化バージョンがある場合は、**jus** の判断によって配布します。
- テープに入れるソースは、基本的にはアーカイブはしません。また、多くのソフトウェアを配布するため、各ファイルは **compress** で圧縮してあります。

配布に関する注意事項

今回のフリーソフトウェアの配布に関しては、以下の注意があります。配布を希望する方は注意事項をご理解のうえ、配布サービスをご利用ください。

- 配付を受けられる方は、**1990年12月20日**の時点で jus の個人/学生/法人/賛助会員の資格を有しているか、 入会申込みをおこなわれている方に限ります。
- かならず FAX か郵送で申し込んでください。電話での問い合わせ、および申込みはいっさい受け付けません。
- 配布したフリーソフトウェアの内容に関するの問合せについては、いっさい受け付けません。
- 配布したフリーソフトウェアに関しては、jus および各

配布はjus会員限定

jus フリーソフトウェア配布 サービス顛末記

吉田茂樹

東京大学

今年の1月から3月にかけて、会員サービスの一環としてフリーソフトウェア・テープの配布をおこないました。ここでその顛末をレポートしたいと思います。jusのサービスがどうやって実現されているのか、その片鱗でも感じとっていただければさいわいです。

/etc/wall 1991年7月号

配布サービス決定

jus の各種の活動はすべて幹事会で検討し、具体的な内容、方針などを決めています。今回のフリーソフトウェアの配布サービスも幹事会での提案から始まりました。

たしか1年ほど前の1990年6月7日の幹事会でした。以前から個人的にフリーソフトウェアのコピーサービスをしたり、同じようなことをしている人と話すなかで、世の中にはフリーソフトウェアを欲しい人がたくさんいることを感じていました。そこで、jus 以外に頼るところがない人に対して、jus のサービスの一環としてフリーソフトウェアを配布するという提案をしました。

この幹事会では、/etc/wall No.10にも載ったアンケートが報告されました。そのなかに、**jusの活動として「フリーソフトウェアの配布」**を求める声が多くあったのです。**これを知って「jusとしてのフリーソフトウェアの配布は、会員にとって非常に意義のあるサービスになるにちがいない」という思いをますます強くしたのでした。**

jus幹事会で ソフトウェア 配布サービスを 提案

提案をしたところ、その場では以下の 2 つの問題点が指摘されました。

1. 作者からの配布許可

USENIX などのほかのユーザー会での配布サービスの話を聞くと、対象となるすべてのフリーソフトウェアについて作者から配布許可を得ているとのことでした。そこで、`jus` での配布にあたって同様の許可を得る必要があるのではないかということです。

2. README の整備

配布サービスを受けたいという希望者には、さまざまなレベルの人がいることが予想されました。したがって、テープからの読出し方法や、インストールの方法などは、誰が読んでも分かるように説明しなければなりません。

いろいろ検討した結果、まず配布したいフリーソフトウェアとその作者名、電子メールのアドレスや住所などのコンタクト先のリストと、テープに同封する README 案を次の幹事会までに作成する、ということになりました。こうして、フリーソフトウェア配布プロジェクトがスタートしたのです。

課題はあるが
配布に向けて準備開始

配布フリーソフトウェア案作成

そこで早速、と言いたいのですが、実際には1カ月ほどかけて配布形態、README、配布内容リストなどの案を作成しました。これをもとに11月くらいまで、毎月の幹事会や幹事のメーリング・リストを通じて検討しました。そして、とにかく配布できるものから配布する、配布許可がもらえなかったものは配布しない、ソフトウェアの内容そのもののサポートはしない、ファイル圧縮などの余計な手間のかかることはしない、ひととおりコンパイルできるかどうかはチェックする、などの方針が徐々に決まっていたのでした。

ところが、なかには配布するソフトウェアが増えたため、ほとんどすべてのファイルを圧縮するなど、途中で方針が変わってしまったものがあります。これは、7月や11月のUNIXシンポジウムのBOFで、RFCやBSDのフリーソース、ネットワーク関連ソースを配布テープに入れて欲しいという要求があり、配布するソフトウェア・ドキュメントが増えてしまったからです。

こうして、配布予定のフリーソフトウェアがほぼ確定したのは、11月末のことでした。当初の予定では10月くらいから配布を始めるはずだったのですが、このような理由で予定がずるずると延びてしまったのです。

配布許可のお願い

配布候補リストができたなら、次は配布許可を作者からもらわなければなりません。ほとんどのフリーソフトウェアはネットワークを通じて配布されたものなので、電子メールで作者へ連絡できます。そこで、配布許可のお願いは電子メールを使うことにしました。なお、いくつかの米国産のフリーソフトウェアは、日本でも使えるように、日本人による日本語化がなされているものもあります。このようなフリーソフトウェアの場合は、原作者と日本語版の作者の両方に許可をもらうことにしました。

各作者に送る配布許可のお願いの文章と配布形態を書いた文章を、日本語と英語の両方で作成したのは11月初めでした。しかし、実際に配布予定のフリーソフトウェアを

出したメールの総数は 66 通、返事が戻ってきたのは 43 通でした (この数には、1 つのフリーソフトウェアに複数の作者がいる場合を含んでいます)。返事がなかったもののなかには、アドレスが古すぎてすでにアカウントやホストがなく、エラーになって返って来たり、jus のマシンのトラブルで返事のメールが受け取れなかったものもあるようです。返事が戻ってきたものについてはすべて配布許可が得られたので配布することにしました。しかし、返事がなかったものにも魅力的なフリーソフトウェアがたくさんあります。そこで、幹事のあいだで検討した結果、当初の方針を少々変更して、フリーソフトウェア中のドキュメントに再配布について許可が明記されているものについては、その再配布条件に従って配布することにした。これで less や patch、perl なども配布できることになったのです。

配布用テープの作成

配布するフリーソフトウェアそのものは、あらかじめ JUNET や USENET、各種テープ回覧などで個人的にも入手していたので、配布許可願いの返事を待つあいだ、それらをもとに配布用テープのためのファイルの整備を始めていました。しかし、この作業が予想以上に難航しました。

“ひととおりコンパイルできるか、などをチェックする”
ことにしたためです。ですから、50 あまりのフリーソフトウェアについて、

1. 整備用ディレクトリにコピーする。
2. Makefile があるか、内容に問題はないかチェックする。
なければ最低限必要なものを作成する。
3. 少なくとも 1 種類のマシンでコンパイル可能で、問題なく使用できることを確認する。
4. ドキュメントが揃っているか確認する。日本語の場合は JIS コードにする。
5. 最後に、README と配布フリーソフトウェアの一覧を作成する。

という作業をおこないました。とくに 1. と 3. がたいへんでした。すでにソースをもっていて実際に使っているものがほとんどだったので、自分の使用マシン、環境に合わせてカスタマイズしてありました。したがって、そのままでは配布用ソースに使えないものが多かったのです。そこで、カスタマイズしていないオリジナルソースをオリジナルの保存用ディレクトリやテープから取り出し、再度シェルアーカイブ・ファイルを展開したり、パッチを当てるなどの作業をおこないました。

また、1 種類のマシンでコンパイルできるかチェックするだけでもかなり手間がかかりますが、せっかくコンパイルするのだからと、ふだん自分が使っている 3 種類のマシン全部についてコンパイルしてみました。まだインストールしていないフリーソフトウェアの整備、古いバージョンを使っている場合のアップデートまで一石二鳥でおこなおうとしたのです。

また、5.の配布フリーソフトウェアの一覧の作成も比較的面倒な作業でした。とくに各ソフトウェアのバージョンと、ファイルの圧縮時と展開時のサイズの調査に思ったより時間がかかりました。これらは本来の仕事のかたわら、暇をみての作業になりますので、すべてのフリーソフトウェアについての作業に約1カ月かかってしまいました。結局、配布用のマスターテープを作成し、テープコピー業者の方にお渡ししたのは、すでに申込み受付を開始したあとの1991年1月7日のことでした。

そして配布

このように苦勞して作成・配布した「jus フリーソフトウェアテープ」ですが、当初の予想どおり会員の皆さんの関心が高かったようで、配布期間の3カ月のあいだに313本もの申込みをいただき、たいへん嬉しく思っています。

個人的にフリーソフトウェアを収集して配布するぶんには、ドキュメントやソースの状態が整備されていなくてもさほど問題はないかもしれませんが、**jus** のような団体として配布サービスをおこなうには、さまざまな形式を整えなければなりません。これは、いろいろな意味でたいへんなことだと実感させられました。

今回のフリーソフトウェアの配布が、すこしでも皆さんのUNIX ライフのお役に立つことを願っています。

jus フリーソフトウェア配布サービスに関する注意

日本 UNIX ユーザ会

1991 年 1 月 1 日

1 配布形態

- メディア

600 フィートの 1/4 インチ・ストリーマ・カセットテープ 1 本。

- フォーマット

tar アーカイブ形式 (20 ブロックファクター) QIC-24 フォーマット。

- 合計容量

約 47 MB。各ファイルは圧縮されています。圧縮を戻すと約 103 MB になります。

1. 入手したソフトウェアを基本的に“そのまま”配布しています。ただし、コンパイルおよび使用にあたって明らかに障害になりそうな不具合は修正してあります。
2. 複数のバージョンがあるものは、特に理由がない限り最新版を配布しています。
3. バグフィックス・パッチ (バグを修正するための変更点を示したファイル) が出ているものは、作者や代理人から配布されたものについてのみ、最新ののものまでパッチを当ててあります。
- ~~4. 日本語化されているものがある場合は、日本語版のみを配布しています。なお、日本語化バージョンが複数ある場合は、jus の判断によって配付しています。~~
5. テープに入っているソースは、基本的にはアーカイブしていません。また、多くのソフトウェアを配布するために、各ファイルは compress で圧縮してあります。

1991年に配布したテープの説明書

2 テープからの読み込み方

配布されたテープから各ソフトウェアのソースファイル等をハードディスクに読み込むには、以下の操作をおこないます。

1. 自分が書き込み可能である適切なところに作業用のディレクトリを作成します。全部のファイルを読み込むには約 47 MB の空き容量が必要です。さらにそのディレクトリでコンパイルする場合はそれ以上の空き容量が必要です。

```
prompt> mkdir ...../src/jus
prompt> cd ...../src/jus
```

2. 全部のファイルを読み込む場合は、以下のように tar コマンドを使います。

```
prompt> tar xvbf 20 /dev/rst0 (/dev/rst0 は SPARCstation の場合)
```

3. 必要なファイルだけを読み込む場合は、まずどのようなファイルが入っているかを確認します。

```
prompt> tar tvbf 20 /dev/rst0 > /tmp/list
```

4. /tmp/list の内容を more や pg 等で確認して、必要なディレクトリまたはファイルを選びます。その後選んだディレクトリまたはファイルを tar コマンドで読み込みます。

例えば README ファイルと compress, less ディレクトリ以下のファイルを読み込むには、以下のように tar コマンドを使います。

1991年に配布したテープの説明書

3 ファイルの圧縮等の戻し方

各ソースファイル等は `compress` コマンドによって圧縮された状態になっています。(*.Z となっているファイルが `compress` で圧縮されているファイルです)

この状態のファイルを元に戻すには `compress` コマンドが必要です。使用されている機種に `compress` コマンドがない場合は、配布されたテープ中の `compress` ディレクトリに `compress` のソースが圧縮されていない状態で含まれていますので、まず `compress` をコンパイルしてインストールしてください。

```
prompt> cd compress
prompt> make
prompt> cp compress /usr/local/bin
prompt> ln /usr/local/bin/compress /usr/local/bin/uncompress
prompt> ln /usr/local/bin/compress /usr/local/bin/zcat
```

1. 1つのファイルを圧縮されていない元のファイルに戻すためには、以下の操作をおこないます。

```
prompt> uncompress file.Z (または compress -d file.Z)
```

2. あるディレクトリに存在する全部のファイルを圧縮されていない元のファイルに戻すためには、以下の操作をおこないます。

```
prompt> uncompress *.Z (または compress -d *.Z)
```

3. サブディレクトリを含め、あるディレクトリ以下の全ファイルを圧縮されていない元のファイルに戻すためには、以下の操作をおこないます。

```
prompt> find . -type f -name '*.Z' -exec uncompress {} \;
(または find . -type f -name '*.Z' -exec compress -d {} \; )
```

4. `networking` などの下にある“tar コマンドを用いてアーカイブし、`compress` コマンドで圧縮してあるファイル群”を元の状態に戻すには、以下の操作をおこないます。

```
prompt> uncompress file.tar.Z (または compress -d file.tar.Z)
```

配布 フリーソフトウェア一覧

お詫び: 「JUS フリーソフトウェア配布サービスのご案内」中で紹介した「配布予定フリーソフトウェア」のうち、mkmf, phone, sps は諸般の事情で今回の配布には含まれていません。お詫び申し上げます。

名前 (version)	サイズ (通常/compress)	内容
Amd (5.2)	727 KB/436 KB	ファイルシステム自動マウントシステム。
Arc (5.21)	291 KB/157 KB	圧縮機能付きファイルアカイブプログラム。
Bnews (2.11)	3.0 MB/1.5 MB	ネットワークニュースシステム。
BSD-sources	14.6 MB/9.5 MB	4.3 BSD Tahoe バージョンフリーソース。
calc	24 KB/15 KB	端末版電卓プログラム。簡単な関数も使用できる。
compress (4.0)	45 KB	ファイル高圧縮プログラム。
cops	243 KB/145 KB	セキュリティーチェックプログラム集。
dosf (1.00)	80 KB/41 KB	SONY NEWS で MS-DOS のファイルを読み書きする。
edd (2.6)	25 KB/14 KB	高速版 dd。テープ間コピーに便利。
ewhod	32 KB/18 KB	改良版 rwhod。
fep	153 KB/77 KB	汎用フロントエンドプロセッサ。
filters (2.0)	23 KB/15 KB	単機能漢字コード変換フィルター群。
fin (1.18)	210 KB/128 KB	文書清書システム。
fonts	9.3 MB/2.4 MB	X11 用日本語フォント集。
fstat	30 KB/18 KB	ファイルアクセス状況報告プログラム。
IRC (2.4)	847 KB/505 KB	TCP/IP 上の chat (お喋り) システム。
jld (2.2)	27 KB/15 KB	日本語対応ファイルダンププログラム。
kcode	12 KB/8 KB	漢字コード表作成プログラム。
kemacs (2.1i)	700 KB/365 KB	漢字マイクロ emacs エディタ。
kermit (4E:070)	3.3 MB/1.6 MB	ファイル転送プロトコルセット。
kermit.new	1.9 MB/876 KB	ファイル転送プロトコルセット最新版。[5A(158)]
key3 (3.1)	1.5 MB/862 KB	X Window System 用作図ツール。
less (97)	317 KB/158 KB	日本語 less ページャ。
LHarc (1.02)	137 KB/69 KB	高圧縮ファイルアーカイブプログラム。
mailconf (6.4J)	289 KB/171 KB	sendmail.cf 作成コマンド。
MIH (6.7)	4.2 MB/2.3 MB	メッセージハンドリングシステム。
msdostool (1.2)	210 KB/134 KB	SONY NEWS/SPARCstation で DOS のファイルを読み書き。
N (6.0.0)	12.0 MB/6.0 MB	日本語 GNU エディタ

kermit.new	1.9 MB/876 KB	ファイル転送プロトコルセット最新版。[5A(158)]
key3 (3.1)	1.5 MB/862 KB	X Window System 用 作図ツール。
less (97)	317 KB/158 KB	日本語 less ページャ。
LHarc (1.02)	137 KB/69 KB	高圧縮ファイルアーカイブプログラム。
mailconf (6.4J)	289 KB/171 KB	sendmail.cf 作成コマンド。
MH (6.7)	4.2 MB/2.3 MB	メッセージハンドリングシステム。
msdostool (1.2)	210 KB/134 KB	SONY NEWS/SPARCstation で DOS のファイルを読み書き。
Nemacs (3.3.2)	13.0 MB/6.0 MB	日本語 GNU emacs エディタ。
networking	10.2 MB/3.8 MB	最新のネットワーク関連ソース。
Ng (1.2.3)	1.2 MB/651 KB	マイクロ Nemacs エディタ。
nkf (1.4)	24 KB/15 KB	万能漢字コード変換フィルタ。
NNTP (1.5.10)	1.2 MB/710 KB	リモートニュース転送プロトコルセット。
patch (2.0.1.6)	154 KB/87 KB	パッチコマンド。ファイルの修正等に便利。
pbm (31oct88)	199 KB/131 KB	Bitmap データフォーマットコンバータ群。
perl (3.0.41)	1.6 MB/866 KB	文字列操作プログラミング言語。
RFC (-1195)	28.8 MB/10.4 MB	Request for Comments。ネットワーク関連の規格集。
rmap (N)	86 KB/55 KB	ユーザ login 状況表示プログラム。
rn (4.3)	774 KB/428 KB	ネットワークニュース購読プログラム。
rtok	18 KB/11 KB	ローマ字 -> かな変換フィルタ。
sch	109 KB/53 KB	スケジュール管理プログラム。
shar	188 KB/113 KB	シェルアーカイブ作成コマンド B
stevie (1.3)	732 KB/372 KB	vi クローン日本語エディタ。
svmail (2.4)	196 KB/124 KB	System V 用メイラ。
top (2.5)	117 KB/68 KB	リアルタイム・プロセス監視プログラム。
unshar	14 KB/10 KB	シェルアーカイブ展開コマンド。
uuq	18 KB/11 KB	UUCP キュー状況報告プログラム。
vn	282 KB/159 KB	ネットワークニュース購読プログラム。
vtmh (3)	121 KB/74 KB	vtwin 用 MH ユーザインターフェース。
vtwin (3)	73 KB/45 KB	キャラクタ端末用マルチウィンドウ。
which	6 KB/5 KB	C 版高速 which。
Zoo (2.01)	443 KB/242 KB	Zoo アーカイブプログラム。
計	102.4 MB/46.3 MB	

名前	内容
Networking	
bind.4.8.3.tar.Z	BIND ネームサーバー。
cmu-snmp1.1b.tar.Z	CMU 版 SNMP セット。
finger.tar.Z	新版 finger コマンド。
ftp.tar.Z	新版 ftp コマンド。
ftpd.5.60.tar.Z	新版 ftp デーモン。
ftpd.tar.Z	新版 ftp デーモン。
gated-1.9.1.7.tar.Z	ルーティング情報管理デーモン。
gated-2.0.1.4.tar.Z	ルーティング情報管理デーモン。
include.tar.Z	新版 BSD /usr/include 関ファイル郡。
oldtalk.tar.Z	旧版 talk コマンド。
ping.tar.Z	新版 ping コマンド。
sendmail.5.65.tar.Z	新版 sendmail デーモン。
slip-3.x.tar.Z	SunOS 3.X 用 SLIP。
slip-4.0.tar.Z	SunOS 4.0 用 SLIP。
slip-4.1-beta.tar.Z	SunOS 4.1 用 SLIP。
slip.dynix.tar.Z	Sequent 用 SLIP。
slip.shar.Z	4.2 BSD 用 SLIP。
talk.tar.Z	新版 talk コマンド。
talkd.tar.Z	新版 talk デーモン。
tcpdump.tar.Z	TCP/IP パケット情報報告コマンド。
telnet.90.09.14.tar.Z	新版 telnet コマンド。
traceroute-sunos3.tar.Z	SunOS 3.X 用ルーティング追跡コマンド。
traceroute.tar.Z	ルーティング追跡コマンド。
traceroute-pkg.tar.Z	ルーティング追跡コマンド。

X11R5 テープ配布のお知らせ

X11R5の公開にともない、jusでもテープ配布を開始します。配布内容は、coreとcontribの両方です。ボリュームが大きく、ストリーマでは4本になります。また、今回初の試みとして、CD-ROMでの配布もおこないます。開始時期は10月を予定しています(確定次第、郵送でお知らせします)。なるべく早く開始できるよう準備を進めていますので、しばらくお待ちください。なお、jusからの配布は、会員限定です。また、法人/賛助会員に対しては、CD-ROMを無料で配布いたします。

/etc/wall 1991年10月号
初のCD-ROM配布

ソフトウェア配布について

昨年 11 月より開始した X11R5 の配布は、2 月末で終了いたしました。今回は、CD-ROM 531 枚、ストリーマ 124 セットを配布いたしました (1992 年 2 月 20 日現在)。次回のソフトウェア配布については現在検討中です。配布時期、内容などにつきましては、決定次第お知らせします。

CD-ROMの方が多かった

事務局だより

ソフトウェア配布サービスのお知らせ

日本 UNIX ユーザ会では、会員サービスの一環としてソフトウェアの配布をおこなっています。今年度は、「フリーソフトウェア '93」と題して、昨年配布した「フリーソフトウェア '92」をさらに便利に利用するための周辺フリーソフトウェア集を配布します。配布は CD-ROM でおこない、下記のソフトウェアを含みます。

- GNU Emacs lisp プログラム集 (GNU Emacs 上で動作する便利な Emacs Lisp プログラム集)

/etc/wall 1993年7月号

- T_EX 周辺プログラム/ファイル集 (T_EX3.X と スタイルファイル、フォント、プリンタドライバ、プレビューアなど)
- Perl スクリプト集 (Perl 言語で書かれた各種の便利なスクリプト集)
- 最新 GNU ソフトウェア一式 (GNU Emacs、gcc、bash、ghostscript、groff などの最新版)
- 最新 X11R5 用 contrib プログラム集 (X11R5 用の contrib プログラムの最新版)
- 最新 UNIX/MS-DOS フリーソフトウェア集 (UNIX 用、MS-DOS 用の各種プログラム集)
- Linux (80386/80486 パソコン用の UNIX に似たフリーな OS)

初めてLinuxを配布

フリーソフトウェア配布奮闘記

東京大学生産技術研究所 吉田茂樹 氏

吉田さんは、以前からフリーソフトウェアの配布活動に奮闘されており、jus が配布しているフリーソフトウェア集の製作も担当されています。発表では、現在の活動内容として、anonymous FTP、mail-server、CD-ROMによる配布活動の紹介がありました。

吉田さんが現在の所属組織で anonymous FTP のサービスを開始したのは 1991 年 8 月です。当初は組織内での利用が目的だったのですが、ネットワーク環境の改善につれて外部からのアクセスが増え、いつのまにか archie に登録されるまでになりました。 FTP サーバーも最初は 600MB でしたが、“天からの授かり物のように” ハードディスクが増えた結果、現在は 1.3GB のハードディスク 3 台と CD-ROM という構成になっています。

/etc/wall
1994年1月号

第52回
jus関西
UNIX研究会

利用状況については、以下の話がありました。

- 開設から現在までの約 2 年間で 40,000 回余りのアクセスがあり、13 万個以上のファイルが get された
- 1993 年に入ってから増加が激しく、NetNewsなどで紹介されるとアクセスが急増した
- get されるソフトのベスト 10 を調べてみると、なんと全部 MS-DOS のソフトだった (ちょっと悔しい:-)
- よく get されているソフトウェアは lha や pc-shell、UNIX のソフトでは xdvi、ghostscript など

anonymous FTP による配布の最大の問題は、更新すべきファイルの監視と管理です。mirror などにも利用しているものの、完全な自動化はなかなかできません。今後は、FTP に置くソフトウェアを特徴ある内容にしていきたいと考えています。

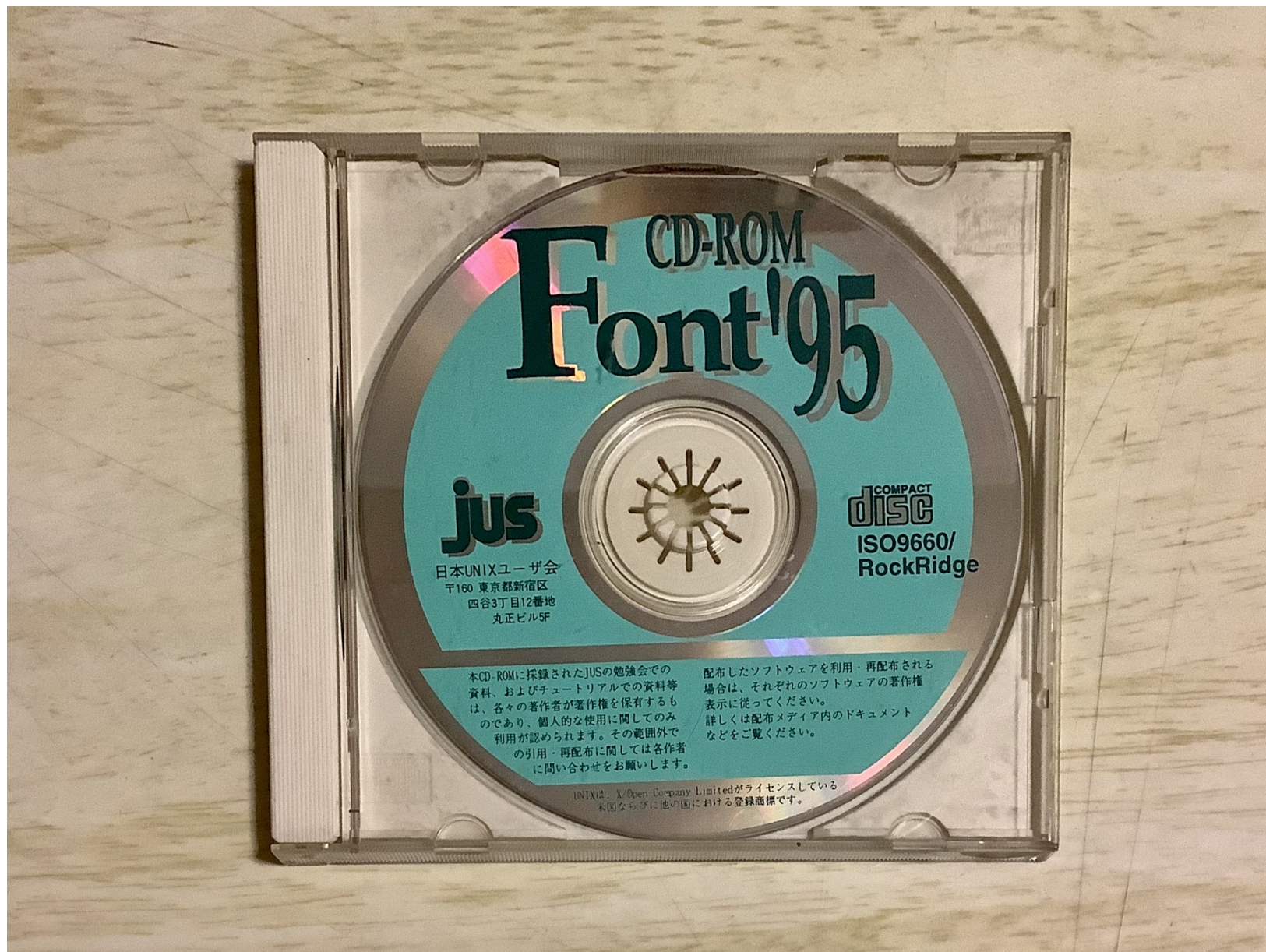
mail-server では、配布するファイルをメールで送るため、パソコン通信からでも利用できます。ネットワークへの負荷を考慮してメールを 50KB ごとに分割したり、ファイルサイズを 1MB までにしたりといった工夫をしています。まだ開設して 3 カ月ほどですが、さかんに利用されているようです。

CD-ROMについては、これまでに作成した CD-ROM の内容、CD-ROM の作成方法を紹介したあと、CD-ROM による配布の問題点について指摘がありました。

- いくつかのフォーマットがあるが、どれも一長一短である
- 容量が大きすぎて、収録内容に特色をもたせるのが難しい
- 配布許可を得る作業が (とくにソフトウェアの種類が増えると) 大変
- GNU のソフトを収録した CD-ROM を配布する場合、もっと FSF への寄付を増やさないと GNU の活動そのものを圧迫してしまう
- バイナリを収録する場合、コンパイルにひどく手間がかかる (とくに、先日あるところで配布した CD-ROM では、Solaris2 で動くバイナリを作るのに大変苦労した)

jusのソフトウェア配布一覧

- X11R3
- X11R4
- GNUソフトウェア(1990?)
- jusフリーソフトウェア(1991)
- X11R5(1991)(ここからCD-ROM)
- フリーソフトウェア '93
- 個人環境CD-ROM '93
- Font CD-ROM '95
- Internet Security CD-ROM '95
- Object Technologies '96 CD-ROM
- WebTech '97 CD-ROM
- Hot Tools '98 CD-ROM



Font CD-ROM '95

第 86 回勉強会報告

Mac OS X はコンシューマー向け UNIX

最大勢力になるか？

講師: 佐藤 徹、花原 良宏 (NeXT ユーザー会)

日時: 2001 年 6 月 25 日 (月) 18:00-20:00

会場: 大阪・旅のセミナールーム

今回の勉強会は、最近発売された MacOS X をテーマに取り上げました。MacOS X は BSD をベースに作られており、したがって現在稼働中の Mac がすべて MacOS X に置き換われば、台数ベースでは UNIX 系 OS の中で最大勢力になります。講師は、NeXT ユーザー会の佐

「Mac OS X はコンシューマー向け UNIX
最大勢力になるか？」 (2001年6月)

MacOS X は UNIX をベースにしているので、UNIX でよく使われているネットワークサービスをほぼすべて利用できます。sendmail、Apache、SSH、FTP などは標準で搭載されていますし、ソースプログラムをコンパイルすれば他のサービスも利用可能です。また、セキュリティパッチなど OS の更新を基本的にインターネット経由で行う方針になっているのも大きな特徴です。大きなファイルをダウンロードすることもあるので、常時接続にした方がよさそうです:-)。

ソフトウェアの更新をインターネット経由で行う考え方が出てきたのはこのあたりから

今回のまとめ

- インターネット普及以前は、フリーソフトウェアをテープやCD-ROMで入手していた
- jusでも会員サービスの一環としてフリーソフトウェア配布活動を行った
- 時代の要請に応じてさまざまなソフトウェアを配布
- 配布の元データとなるテープやCD-ROMの作成には相当な労力がかかった
- jusのフリーソフトウェア集は会員限定配布だったので、それを目当てに会員になった人が多く、1990年代中期にjus会員数は最大になった(約2500人)
- 2000年代に入るとソフトウェアの入手や更新は徐々にネット経由に移行し、CD-ROMは廃れた

皆さんに

お伝えしたいこと

今の流行技術も
20年後には
歴史講座の題材

今すぐこの時代の

まとめを作る必要はない

でも今を記録に残すことは

やっておいた方がいい

今後の予定

6/27(土) OSC北海道オンライン

ゲスト：熊谷典大(元jus幹事)

他の年代の資料も
こちらで公開中

<https://www.slideshare.net/hourin/>

もしくは
「slideshare 法林」で検索

ありがとうございました



つづきは懇親会で！